

Talend Open Studio for Data Integrationリリースノート

7.2.1

目次

Copyright.....	3
システム要件.....	5
Talend Open Studio for Data Integration: 新しい機能.....	6
Data Integration: 新しい機能.....	6
Talend Open Studio for Data Integration: バグ修正.....	9
Talend Open Studio for Data Integration: 非推奨および削除されたアイテム.....	10
Data Integration: 非推奨および削除されたアイテム.....	10
Talend Open Studio for Data Integration: 既知の問題と制限事項.....	11
Data Integration: 既知の問題と既知の制限事項.....	11
Talend Open Studio for Data Integration: ヒントと注.....	12
Data Integration: ヒントと注.....	12
[Documentation] (ドキュメンテーション).....	13
欠陥と問題点のレポート.....	14

Copyleft

7.2.1に対応しており、以前のリリースの更新版となります。

公開日: 2019年6月20日

このドキュメントの内容は公開の時点で正確なものです。

ただし、オンライン([Talend Help Center](#))で最新の更新バージョンが入手できる場合があります。

このドキュメントは、クリエイティブコモンズ公共ライセンス(CCPL)の条件の下で提供されています。

CCPLに準拠した許可事項および禁止事項の詳細は、<http://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/2.0/>を参照してください。

商標について

TalendはTalend, Inc.の商標です。

すべてのブランド、商品名、会社名、商標、およびサービスマークは各所有者に帰属します。

ライセンス契約

このドキュメントに記述されているソフトウェアは、Apache License、バージョン2.0 (以下「本ライセンス」という)の下でライセンスされています。本ライセンスを遵守せずに、このソフトウェアを使用することはできません。ライセンスのコピーは、<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0.html>で取得できます。当該の法律による要求または書面での同意がない限り、本ライセンスの下で配布されるソフトウェアは、「現状有姿」で、明示または暗示にかかわらず、あらゆる保証あるいは条件なしで提供されます。ライセンスの下で許可および制限を適用する特定の言語のライセンスを参照してください。

本製品には、AOP アライアンス(Java/J2EE AOP標準)で開発されたソフトウェア、ASM、Amazon、AntLR、Apache ActiveMQ、Apache Ant、Apache Axiom、Apache Axis、Apache Axis 2、Apache Batik、Apache CXF、Apache Chemistry、Apache Common Http Client、Apache Common Http Core、Apache Commons、Apache Commons Bcel、Apache Commons JXPath、Apache Commons Lang、Apache Derby Database Engine and Embedded JDBC Driver、Apache Geronimo、Apache Hadoop、Apache Hive、Apache HttpClient、Apache HttpComponents Client、Apache JAMES、Apache Log4j、Apache Lucene Core、Apache Neethi、Apache POI、Apache ServiceMix、Apache Tomcat、Apache Velocity、Apache WSS4J、Apache WebServices Common Utilities、Apache Xml-RPC、Apache Zookeeper、Box Java SDK (V2)、CSV Tools、DataStax Java Driver for Apache Cassandra、Ehcache、Ezmorph、Ganymed SSH-2 for Java、Google APIs Client Library for Java、Google Gson、Groovy、Guavaが含まれています:Java、H2 Embedded Database、およびDBCドライバーのためのGoogle CoreLibraries、ヘクター: Apache Cassandraのための高レベルのJavaクライアント、Hibernate Validator、HighScale Lib、HsqlDB、Ini4j、JClouds、JLine、JSON、JSR 305: Annotations for Software Defect Detection in Java、JUnit、Jackson Java JSON-processor、Java API for RESTful Services、Java Agent for Memory Measurements、Jaxb、Jaxen、Jettison、Jetty、Joda-Time、Json Simple、LightCouch、MetaStuff、Mondrian、OpenSAML、Paracel JDBC Driver、PostgreSQL JDBC Driver、Resty:Java、Rocoto、SL4Jのための単純なHTTP RESTクライアント:Java用のシンプルなLogging Facade、Simple API for CSS、SshJ、StAX API、StAXON - JSON via StAX、The Castor Project、The Legion of the Bouncy Castle、W3C、Woden、Woodstox: 高パフォーマンスのXMLプロセス、Xalan-J、Xerces2、XmlBeans、XmlSchema Core、Xmlsec - Apache


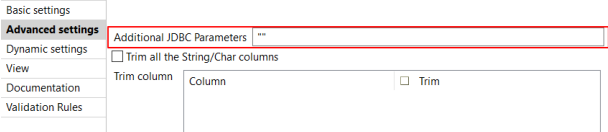
Santuario、Zip4J、atinject、dropbox-sdk-java: Dropbox Core API用のJavaライブラリ、google-guice。各ライセンスの下でライセンスされています。


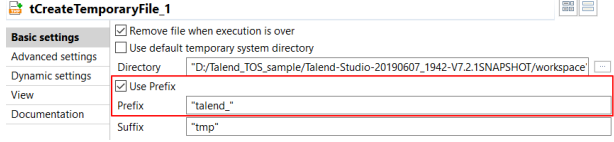
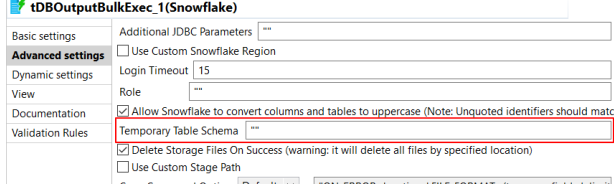
システム要件

インストールとシステムの要件については、Talend Help Center (<http://help.talend.com>)で『Talendインストール&マイグレーションガイド』を参照して下さい。

Talend Open Studio for Data Integration: 新しい機能

Data Integration: 新しい機能

フィーチャー	説明
Eclipseのアップグレード	Eclipseで提供されている最新機能を活用するために、Talend StudioがEclipse 4.10をベースとするようになりました。
Java 11のサポート	Talend StudioがJava 11で実行可能になりました。
インターネットなしのモード	StudioユーザーはインターネットアクセスなしでTalend Studioを起動できるようになりました。
強化されたSAPのサポート	<p>tSAPTableInputとtELTSAPMapでは、[Use the RFC server] (RFCサーバーの使用) オプションを選択できるようになりました。このオプションを使用すると、SAPアプリケーションから大量のデータを直接抽出することができます。</p> <p>警告：この機能はステータスがテクニカルプレビューで、実験段階の機能です。</p> 
強化されたMicrosoft CRMのサポート	Microsoft Dynamics WebAPI v9.1 (2018)がサポートされるようになりました。
コンポーネントで追加のJDBC/パラメーターをサポート	<p>Studioユーザーは、追加のJDBC/パラメーターを次のコンポーネントに提供できるようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> tFirebirdInput, tFirebirdOutput, tFirebirdRow tIngresInput, tIngresOutput, tIngresRow, tIngresSCD tInterbaseInput, tInterbaseOutput, tInterbaseRow tNetezzaBulkExec, tNetezzaInput, tNetezzaNzLoad tParAccelBulkExec, tParAccelInput, tParAccelOutput, tParAccelOutputBulkExec, tParAccelRow, tParAccelSCD tPostgresPlusBulkExec, tPostgresPlusInput, tPostgresPlusOutput, tPostgresPlusRow, tPostgresPlusSCD, tPostgresPlusSCDELT tPostgresqlBulkExec, tPostgresqlInput, tPostgresqlOutput, tPostgresqlOutputBulkExec, tPostgresqlRow, tPostgresqlSCD, tPostgresqlSCDELT tVectorWiseInput, tVectorWiseOutput, tVectorWiseRow 

フィーチャー	説明
メタデータ接続で追加のJDBC/パラメーターをサポート	Studioユーザーは、メタデータウィザードで全てのデータベース接続に追加のJDBCパラメーターを提供できるようになりました。
コンポーネント名の変更	<p>次のコンポーネントの名前が変更されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • tSalesforceWaveBulkExecが tSalesforceEin steinBulkExecに • tSalesforceWaveOutputBulkExecがtSalesforceE insteinOutputBulkExecに
Json Webトークンのオーディエンス	<p>Studioユーザーは、Json Webトークンのオーディエンスを次のコンポーネントに設定できるようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • tSalesforceConnection • tSalesforceInput • tSalesforceOutput • tSalesforceBulkExec • tSalesforceGetDeleted • tSalesforceGetUpdated • tSalesforceOutputBulkExec • tSalesforceGetServerTimeStamp 
デフォルトのSalesforce APIバージョンの変更	デフォルトのSalesforce APIバージョンが45.0に変更されました。
tCreateTemporaryFileコンポーネントの新しいチェックボックス	<p>Studioユーザーは、tCreateTemporaryFileコンポーネントで一時ファイル名にプレフィックスを指定できるようになりました。</p> 
一時テーブルにスキーマを指定する	<p>Studioユーザーは、次のコンポーネントの一時テーブルにスキーマを指定できるようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • tSnowflakeBulkExec • tSnowflakeOutputBulkExec 
PostgreSQL 11のサポート	<p>次のコンポーネントは、データベースのバージョンが9.0以降の場合、PostgreSQL 11をサポートするようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • tPostgresqlBulkExec • tPostgresqlCDC

フィーチャー	説明
	<ul style="list-style-type: none">• tPostgresqlConnection• tPostgresqlInput• tPostgresqlInvalidRows• tPostgresqlOutput• tPostgresqlOutputBulkExec• tPostgresqlRow• tPostgresqlSCD• tPostgresqlSCDELTA• tPostgresqlValidRows
UUIDデータベースタイプのサポート	<p>次のコンポーネントは、データベースのバージョンがVertica 9.0以降の場合、UUIDタイプをサポートするようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none">• tVerticaBulkExec• tVerticaConnection• tVerticaInput• tVerticaOutput• tVerticaOutputBulkExec• tVerticaRow• tVerticaSCD

Talend Open Studio for Data Integration: バグ修正

新しい機能に加えて、全製品に細かな改善と重要なバグ修正が施されました。個別の問題については、バグ追跡システムで対応する変更ログを参照して下さい。

Module (モジュール)	変更ログ
Data Integration	https://jira.talendforge.org/issues/?filter=29827

Talend Open Studio for Data Integration: 非推奨および削除されたアイテム

Data Integration: 非推奨および削除されたアイテム

フィーチャー	説明
設定のパブリッシュ	以下の設定はTalend 7.1以降、非推奨となります。 <ul style="list-style-type: none"> SpagoBIへパブリッシュ Spagicへパブリッシュ
MicrosoftAXのコンポーネント	次のMicrosoftAXコンポーネントは、Talend 7.2以降は非推奨となっています。 <ul style="list-style-type: none"> tMSAXInput tMSAXOutput
Sage X3コンポーネント	次のSage X3コンポーネントは、Talend 7.2以降は非推奨となっています。 <ul style="list-style-type: none"> tSageX3Input tSageX3Output
OleDBコンポーネント	次のOleDBコンポーネントは、Talend 7.2以降は非推奨となっています。 <ul style="list-style-type: none"> tOleDBInput tOleDBOutput tOleDBRow
CentricCRMコンポーネント	次のCentricCRMコンポーネントは、Talend 7.2以降は非推奨となっています。 <ul style="list-style-type: none"> tCentricCRMInput tCentricCRMOutput
SugarCRMコンポーネント	次のSugarCRMコンポーネントは、Talend 7.2以降は非推奨となっています。 <ul style="list-style-type: none"> tSugarCRMInput tSugarCRMOutput
Sasコンポーネント	次のSASコンポーネントは、Talend 7.2以降は非推奨となっています。 <ul style="list-style-type: none"> tSasInput tSasOutput
SPSSコンポーネント	次のSPSSコンポーネントは、Talend 7.2以降は非推奨となっています。 <ul style="list-style-type: none"> tSPSSInput tSPSSOutput tSPSSProperties tSPSSStructure
MySQL 4のサポート	MySQL 4のサポートは非推奨となっています。

Talend Open Studio for Data Integration: 既知の問題と制限事項

Data Integration: 既知の問題と既知の制限事項

未解決の問題を記載した完全なリストは、JIRAバグ管理ツールを参照なさってください。

<https://jira.talendforge.org/issues/?filter=29826>

[Limitation] (制限事項)	説明
	<ul style="list-style-type: none"> 集計関数を使用するSOQLクエリ TYPEOF式を使用するSOQLクエリ エイリアスを使用するSOQLクエリ SOQLクエリによってはスキーマ推測でサポートされていないものがあり、SOQLクエリのプレフィックスはFROMの後のモジュール名と同じです <p>たとえば、SELECT Account.Name, (SELECT Contact.LastName FROM Account.Contacts) FROM Accountはサポートされていませんが、同じ機能を実行するSELECT Name, (SELECT LastName FROM Contacts) FROM Accountはサポートされています。</p> <ul style="list-style-type: none"> FROMの後ろに複数のモジュールがあるSOQLクエリ <p>たとえば、SELECT Contact.Firstname, Account.Name FROM Contact,Contact.Accountはサポートされていません。ただし、子から親、および親から子の関係クエリはサポートされています。したがって、このクエリを改善してSELECT Firstname, Account.Name FROM Contactとすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> toLabel()を使用するSOQLクエリ 名前にアンダースコア文字 '_'があるフィールド
Java PSUはサポートされていません。	<p>TalendはJava CPUバージョンでのみサポートされています。Java PSUではサポートされていません。</p> <p>一部のユーザーから、Talend StudioでJava PSUバージョン(jdk8_u92など)を使用したときに問題が発生したが、Java CPUバージョン(jdk8_u91など)に戻すと問題が解決したというレポートがありました。</p> <p>次も参照してください: http://www.oracle.com/technetwork/java/javase/cpu-psu-explained-2331472.html</p>
Accessでの照合の制限	<p>6.0以降、Talend StudioのAccessコンポーネントは、一般照合モードのみをサポートします。</p>
SalesforceウィザードのOAuthモード	<p>OAuth2認証を使用してSalesforce接続を確立するには、最初にTalendジョブを実行してトークンファイルを取得してから、ウィザード内でそれを初期化する必要があります。</p>
tFileCopyはJava 8でしか動作しません	<p>このエラーを回避するには、tFileCopyを含んでいるジョブをJava 8でのみ実行するようにしてください。</p>

Talend Open Studio for Data Integration: ヒントと注

Data Integration: ヒントと注

[Item] (アイテム)	説明
Java 8でジョブをビルドするときのメモリ不足	<p>Java 8では多くのメモリが使用されます。Java 8を使用するプロジェクトでは、場合により、Talend Studioが使用するJVMメモリを増やす必要があります。</p> <p>システムでTalend Studioのメモリ使用量が多すぎる場合は、このパラメーターをStudio .iniファイルに追加できます: <code>-XX:MaxMetaspaceSize=512m</code></p>
Gitサポートに関するメモ	<p>同じGitリポジトリ上にあるすべてのプロジェクトで、すべてのブランチ/タグが表示されます。したがって、1つのプロジェクトにブランチ/タグを作成すると、同じGitリポジトリ上にあるその他すべてのプロジェクトで同じリストが表示されます。</p> <p>ロック解除モードについて: 変更されたアイテムはすべてローカルに保持され、アイテムがロック解除されるまでサーバーにコミット/プッシュされることはありません。プロジェクトアイテムは、必要に応じてGitのstashシステムに一時的に保存され、ロック解除されるまではプッシュされません。</p>
再帰ジョブの使用	<p>これにより、同じ依存関係を持つ再帰ジョブが強制的にビルドされるため、再帰ジョブは使用しないで下さい。通常の場合、各ジョブには独自のMavenプロジェクトがありますが、再帰ジョブを使用すると、リンクされているすべてのジョブが同じプロジェクト内でコンパイルされる可能性があります。これにより、ジョブ間でコンパイルの問題が発生しやすくなります。</p>

[Documentation] (ドキュメンテーション)

Talend Help Center

Talend製品を最大限に活用する方法は、Talend Help Center <http://help.talend.com>にアクセスしてご覧いただけます。

未解決の問題

未解決の問題を記載した完全なリストは、JIRAバグ管理ツールを参照なさってください。

<https://jira.talendforge.org/issues/?filter=18375>

欠陥と問題点のレポート

有効なサポート連絡先を持つTalendの顧客として、Talendオンラインヘルプデスクをご利用いただけます。または、連絡先に記されている電話番号と電子メールアドレスを使用して、顧客サポートにお問い合わせいただけます。

多くの場合、以下の情報をご提供いただく必要があります。これは、お客様の問題を素早く診断するのに役立ちます。

- お使いの製品とバージョン(例: Talend Data Fabric 7.1.1)
- オペレーティングシステム(例: Windows Server 2008 R2 SP1 (64bit))
- 使用しているJava Platform JDK / JREのバージョン(例: ORACLE JDK 1.8.0_161)
- ログファイルおよび/またはスクリーンショット

また、テクニカルサポートチームが十分な情報に基づいて支援できるように、少なくとも以下について詳しく説明して下さい。

- 問題が発生した時点までの操作
- 想定していた結果

サポートヘルプデスクに加えて、コミュニティサポートツールもご利用いただけます。

- [Talendコミュニティ](#)。
- [Talend Bug Tracker](#)もご利用いただけます。
- 関連する契約で提供させていただいているサービスレベルアグリーメントに基づいて処理されるのは、Talendサポートヘルプデスク内のいずれかのTalendサポートチャンネルを通じて作成されたケースに限られます。